



3 0600 03110261 0

# 南支南洋時報

第二十八號

昭和十七年十二月十五日

臺灣總督府外事部

## 目次

南支

福建省沿海敵地區に於ける經濟狀況.....

廣東金融事情概況（八月中）.....

海口金融事情概況（八月中）.....

海南島旅行記.....

國立中央圖書館台灣分館



3 1111 003489463

國立中央圖書館台灣分館  
新書

新 018427

一頁

六頁

八頁

一三頁

南洋

戦前のシンガポール事情

四一頁

統計

昭和十七年上半年廈門貿易統計

一九一頁

南支各地域別在留邦人人口概計表

二〇二頁

臺灣よりの支那向渡航者諸統計表

二二一頁

華僑送金表 (海南島七月)

二二五頁

南支各地物價調

二二五頁

南支

福建省

福建省沿海敵地區に於ける經濟狀況

國立中央圖書館分館  
新 成 書

一 福州、漳州方面に於ける工廠の建設狀況

皇軍の沿岸封鎖に依り福建省敵地區に於ける物資の不足は益々窮乏の一途を辿り、民生に對する影響は日増に深刻化してゐる。之が爲省當局に於ては自給策確立の目的を以て歸國華僑に對し官民合辦の工廠を創立せしめ、既に五十餘箇所を設立し操業を行つてゐると云はれてゐるが、其の製品は省内の需要を充たすに足らない状態にある。

次に敵地區の各地に於ける經濟建設狀況を述べれば左の如くである。

(一) 福州方面

臺灣銀行出張所等がある。本年四月一日より特務部出張所が開設された。北黎ホテル、カフェー、喫茶店一、二軒がある。海軍特務部では人口十五萬の都市計畫進行中である由。現在重油發動機發電による電燈がある。北黎地方は砂質の土地であり、而も乾燥度強く一般農作物は成育せず、唯甘薯を産するのみである。米穀は從來外米依存であり、地方民は甘薯を細断して天日に干し、これを粥となし常食とする。進出邦人は米と野菜とを三亞地方に仰ぐ現狀である。

北黎ホテルに一泊。北黎・黄流間は目下コレラ流行地である爲臺灣自動車は通はないので日本窒素の貨物自動車に便乗しドラム鐵に跨り、翌日午前九時半北黎を出發した。

八所 従前地方小港に過ぎなかつたが最近石碌鑛山の鑛石運搬用輕便鐵道の起點となり、日本窒素の鑛山關係事務所は本年四月二十日北黎より全部此處に移轉した。築港の完成も近き將來にある。また東亞鹽業の事業地がある。

通天 沿道の一小市である。

感恩 明治製糖の事業地がある。

佛羅 梅村公司の事業地があり、水稻、棉の栽培、試植を行つてゐる。また宣撫交易所がある。この地を過ぎれば間も無く崖縣に入る。

黄流 北黎より十一軒である。全島一周公路は市内を通過しない。海軍分遣隊の駐屯地であり、南國産業の事業地がある。

九所、望樓 共に沿道の一小市である。九所には南洋興發、南國産業の事業地がある。海軍分遣隊營舎前の白壁の大家屋に治安維持會の看板が掲げてあつた。支那飯店にて持參の辨當を聞く。望樓には南國産業、南洋起業の事業所がある。

崖縣 黄流より約四十五軒、戸數約三百、人口約三千、邦人二、三十人、當地方の中心市場である。市の中央に邦人經營の南進食堂あり、喫茶、飯店、軍の慰安所を兼營し、和洋菓子をも製造してゐる。海軍分遣隊駐屯地であり、治安維持會がある。南洋興發、南方畜産の事業所がある。

崖縣温泉 崖縣より一軒、日本式休憩所があり宿泊も可能である。特務部が管理する。温泉温度三、四十度である。

北黎より崖縣に至る地方は砂質である上に乾燥してゐるから、降雨の氾濫、井水の湧出等により灌漑用水に恵まれてゐる處以外は廣漠たる原野であり、黄牛、水牛、山羊等が放牧され、七、八歳の童子さへ良く之を監視してゐる。荒野の所々に井戸を掘り灌漑用水としてゐる。地方土民に賦役して道路の修理がなされつゝある。

馬嶺 沿道の一小市であり、臺灣殖殖株式會社の農場がある。最近精米機三臺の取付けを了した。この地方

一時間半にして藤橋に着した。三亞より大約四十軒である。商店六十戸餘り地方商業の中心である、外港として藤橋港を有す。藤橋市は農林業の中心地として極めて有望であり、將來那大、嘉積を凌駕すべきものと言はれ、三井農林の纖維作物の事業地があり、臺灣拓殖株式會社の牧場豫定地である。

**新村** 陵水を去る十三軒、白砂の平原の中心に位し農耕には不適當と思はれるが、魚類、鹽、木材、牛豚の集散地である。附近の白砂は硝子の原料として利用出来るが、動力と勞力が無いため目下の處は工場建築に至らない。

**陵水** 三亞より八十軒、海口市より二九四軒、三井農林及び臺灣拓殖の事業地がある。この地方は比較的味肥沃で、以前より農産物殊に米の産出の多い地方であるが、臺灣拓殖が昭和十四年二月陵水縣師範學校跡に事業地を設け、社員十五名、農夫百四十名を使役し、六十町歩を直營して、臺灣より種籾を取寄せて栽培し、本期既に蓬萊米二十九萬斤、臺灣在來米七萬斤を收穫した。最近精米機三臺を設備して精米に従事してゐる由。

博愛醫院は施療患者を主として取扱つてゐるが、特殊地方病患者に限り研究用として入院を許してゐる。マラリヤ患者は比較的少なく、またこれ以外に地方病はなく陵水附近は醫學上より健康地と稱すべきである。唯新村港及び黎安村附近に梅毒に似た接觸病があるが、これは佛印南部馬來地方に存在する病氣であるから、華僑がこれ等地方より持込んだものであらうとの話であつた。

陵水附近は煉瓦製造用原土に富み、從來より土民が地方用として製造してゐるが、最近臺灣に於て煉瓦製造工場設立の計畫中である。また近海より採集した粗珊瑚礁を以て白粟粉を製造する處七、八箇所あり、尙農具製造の鍛冶屋十軒餘ある。城内の商鋪の大部分は未だ空屋である。丁度昭和十五年五月六日治安維持會創立二周年記念式舉行の當日であつた爲、治安維持會は地方民を集めて演説をしてゐた。邦人經營の南進ホテルに一泊した。このホテルは客室十室、慰安所をも兼營せる如くであつた。

**亦坂峠** 標高三百米、陵水より十三軒である。設營隊が土民を督勵しつゝ道路改修工事を施行中であり、野鷄が道路上を走り歩いてゐるのが印象に残つた。

**南橋** 山岳地帯であり、自動車の休止する處に六、七軒の土民家屋があり、第二十九設營隊宿舍があつた。附近山中到る處に南洋ゴム會社がゴム園栽植中である。

**興隆** 沿道の小市で商鋪三十五、六戸ある。

**萬寧** 午前十一時三十分萬寧着、萬寧ホテルにて中食する。土人家屋を修理して營業してをり石油洋燈を使用中である。三亞より百四十二軒、陵水より六十二軒に位置し、交通の要衝に當り、物資の集散地として當地方第一の市場である。生豚、生牛、檳榔、椰子、木材を大宗として益智、草仁、紅藤、小海老、蟲絲を輸出し、反物、煙草葉、燒物類、乾菜、藥材、紙料、爆竹、其の他各種雜貨を輸入する。縣城西門外に半坡處がある。四、